

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス ライム		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 1日		2026年 2月 17日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14人	(回答者数) 11人
○従業者評価実施期間	2026年 2月 1日		2026年 2月 17日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9人	(回答者数) 9人
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 20日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門的支援加算の内容において、各分野に特化した職員が、利用者の特性に応じて計画を立て、行い、年間を通して成果を実感している。	年間計画を立て、各担当者の毎回の記録を鑑みながら、それぞれの利用者の達成度合いをみて目標を立てていく。お迎え時には保護者に報告することで情報共有することが良い成果に繋がっている。	利用者が集中して取り組めるよう、環境を整え引き続き工夫をしていく。
2	近隣の老人ホームの訪問を訪問してハロウィンでは仮装して訪問したり、お正月は折り紙を作ってお正月の歌を合唱したり、季節の節目で交流を深めている。	子どもが折紙などや絵を作成して、お年寄りに実際に会って渡すことで喜んでいただける事を実感し、また会いたい気持ちや、次は何をお届けしようかと考えたりすることで、見通しを立てた行動や、思いやりの心を育むことにも繋がっている。	老人ホームの方々にも喜んでいただけていることを報告いただいているので、定期的に計画を立てて訪問していく。
3	毎月する活動の様子を『ライムのおたより』として発行している。また外出したり、イベントなどがある場合はLINEにて情報発信を行っている。	保護者のお迎え時にも確認できるように、出入り口に活動の様子を掲示している。また今年からライム専用のおたよりに変えて、掲載内容を広くお知らせできるように工夫した。	各担当者や保護者からの情報を収集しながら、おたよりの内容を充実していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用児の身体面の成長に伴い、工夫はしているが支援スペースが狭くなっている。	パーテーションを利用したり、グループ活動として活動内容を分けたりしている。	新しい支援スペースの確保を検討中。
2	男性職員が少なく、同性介助や、力が必要な支援が難しくなっている。	該当者の募集を行っているが、なかなか集まらない。	放デイの仕事に男性が就きにくい為周知が必要。
3			